

平成30年度 第1回総合教育会議報告

日時 平成30年4月6日（金）午後2時から午後2時55分まで
場所 本庁舎3階 第2・第3・第5委員会室
出席者 石井市長、小泉教育長、中村順一郎教育長職務代理者、藤本政一教育委員、
天野ますか教育委員、野尻正人教育委員、庄司有紀教育委員
兼子総務部長、杉本企画財政課企画担当リーダー、企画担当鈴木、
井上教育次長、安藤学校教育課長、薦木学校教育課
学校づくり担当リーダー、小林社会教育課長
傍聴者 0名

市長挨拶

皆さまこんにちは。今日は春の嵐なのか、強風で桜もすべて葉桜になってしまった。

年度初めの大変お忙しい中であるが、本日は、平成30年度第1回大月市総合教育会議を開催するが、教育委員の皆さまには日頃から、本市教育行政の推進に大変御尽力をいただき心から感謝を申し上げます。

本年度も、皆さまのお力をお借りして、大月市内の児童・生徒等がより良い教育環境で勉学に励めるよう努めるとともに、次代を担う本市の子どもたちのため、教職員、保護者、そして地域の皆さまとともに、特色あるふるさと教育の推進に努めて参りたいと考えている。

小中学校の教育環境については、エアコン等の空調設備が、未設置校4校への設置が完了し、すべての学校において空調環境が整ったところである。

また、不登校児童生徒の居場所づくりのため、旧強瀬小学校の別棟を「教育支援センター」として設置するため改修工事が完成したところである。

教育支援室については、設置して3年となり、保護者や教職員に浸透し、欠かせない存在となっている。保護者並びに教職員からは、児童生徒の教育相談や子育て相談などについての助言をはじめ、課題を抱えている子どもたちに寄り添い、関係機関と連携して指導をしてくれるので大変心強いとの声をいただいている。

昨年度から始めた本市独自の取り組みである「家事労働」を取り入れた生活づくりとともに、「家庭学習」に取り組む「チャレンジ大月っ子」であるが、より良い生活習慣や学習習慣が定着しつつあり、山梨県の「家庭学習実践事例集」にも取り上げられたとの報告を受けた。良い習慣は、その人間の人格の基盤となるのではないかと思っている。

また、基礎学力の定着と学力向上のため、教員OBの皆様に協力をいただきながら、年間を通して「大月っ子楽習サロン」を開設することができた。

子どもたちからも保護者からも大変好評であり、教員OBの先生方をはじめ、ご協力いただいている関係者の皆さまに心から感謝申し上げます。

新たな取り組みとしては、外国語学習や国際理解教育の体験活動の機会として、小中高連携による「大月駅学生ボランティア活動」の実施に向けて、準備を進めているとのことであるが、関係する皆さまのご協力をお願い申し上げます。

これからの変化が激しい社会に生きていく子どもたちには、自ら課題を見つけ、他者と協働しながら解決していく力や、多様性を受け入れ、違いを乗り越え、他者と繋がる豊かな人間性が何よりも大切だと考えている。

ふるさと大月で豊かに学び、そして夢と希望を持ち、世界に羽ばたく人材の育成に、今後も努めていきたい。

本日の議題は、「平成30年度学校教育の指針」の1件であるが、活発なご意見をいただき、ご審議願いたい。

教育長挨拶

皆さまこんにちは。石井市長の挨拶にもあったが、このあと大月市学校教育指針について協議していただく。

社会の変化がかつてないほど激しくなり、カナダのトルドー首相が「今ほど変化の激しい時代はないけれども、今後今ほど変化のスピードが遅い時代は二度と来ない」とおっしゃっていたが、そのような時代の中に生きていく子ども達に、どのような資質や能力を備えていくことが大切なのかが、これからの教育の要かと思っている。

このあとの協議の中で忌憚のないご意見をいただき、大月市の学校教育指針を更に確かなものにしていただければありがたい。

議 事

(1) 平成30年度大月市学校教育の指針について

説明者 小泉教育長

【内容】

「平成30年度 大月市学校教育の指針」について説明があった。

【協議結果】

協議の結果、誤字を修正し、承認された。